

【05年次生以降】

外国語学部の学科と専門分野

外国語学部の学生は、下記の表に記載された6学科のいずれか1つに所属して専攻語学を学ぶとともに、各学科が指定する専門分野のうちのいずれか1つを2年次春学期終了時に選択し、専門的な研究を行う。

所属学科	各学科が指定する専門分野				
英語学科	英語研究	アメリカ研究 英国・英語圏研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
ドイツ語学科	ドイツ語研究	ドイツ語圏研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
フランス語学科	フランス語研究	フランス語圏研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
イスパニア語学科	イスパニア語研究	イスパニア語圏研究 ヨーロッパ研究 ラテンアメリカ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
ロシア語学科	ロシア語研究	ロシア・ユーラシア研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
ポルトガル語学科	ポルトガル語研究	ポルトガル語圏研究 ヨーロッパ研究 ラテンアメリカ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究

学科科目の構成

外国語学部の学科科目は、以下の部分で構成される。

- ・ 外国語学部基礎科目：1年次生を対象とした「外国研究入門」と外国研究に必要なディシプリン（専門学問領域）の基礎知識の習得を目的とする学部共通の科目群。
- ・ 必修科目：卒業要件を満たすために学生が必ず履修しなければならない指定科目。
- ・ 選択科目：卒業要件に応じて特定の科目群から学生が自由に選択できる科目。

なお、「卒業に要する科目」の「学科科目」には、専門分野科目のほかに学科選択科目、他学部他学科科目、課程科目等で充当することもできる。学科によって充当できる内容が異なるので該当ページを参照すること。また、**専門分野科目については、各自が選択した専門分野以外の専門分野科目も履修することができる。**

外国語学部開講科目における科目記号

外国語学部で開講される科目で使用している記号は、原則として以下の定義による。ただし学科、専門分野によっては移行期にともない例外的な記載があるので、各学科の該当ページを参照すること。

- ・ ローマ数字の I, II… 科目段階区分：各学科の専攻外国語のように I の科目を履修できなければ II の科目を履修できない科目。
- ・ アルファベットの大文字 A, B… 科目の内容区分：同じ名称の科目だが講義内容が異なる科目。
- ・ アラビア（算用）数字の 1, 2 同じ科目の春学期、秋学期に区分される科目。
- ・ アルファベットの小文字 a, b… 科目のクラス区分：同じ科目のなかでのクラス分け。
- ・ (他) 他学科開講科目
- ・ (隔) 隔年開講
- ・ (重) 重複履修可能科目（2回以上履修した場合、いずれも卒業に必要な単位として認められる。）
- ・ (外) ヨーロッパ研究、ラテンアメリカ研究専門分野の科目のうち外国語で講義される科目

専門分野の届出

届出：外国語学部の学生は、2年次春学期終了時に、所属学科が指定する専門分野のうちのいずれか1つを選択し、所定の用紙によって外国語学部事務室に届出なければならない。届出要領等はLoyolaにて通知する。

変更：届け出た専門分野は、2年次秋学期以降、卒業直前の学期を除き、変更することができる。ただし、変更

よって各専門分野の所定の科目・単位を履修できない場合があるから、変更は慎重に行うこと。

留学、編入学に伴う科目および単位認定

留学した学生は帰国後、また編入した学生は編入後すみやかに、学事センターの用紙による単位認定を受けなければならない。認定を受けた科目を専門分野科目に充当したい場合は、外国語学部備え付けの用紙により、申請しなければならない。履修証明の申請の際は、その用紙と学事センターの単位認定用紙のコピーを添付すること。

卒業論文・卒業研究

(1) 履修登録

卒業論文または卒業研究を履修する学生は、届け出た専門分野においてそれを履修しなければならない。専門分野の履修証明を取得するためには、卒業論文または卒業研究は必修である。

卒業論文または卒業研究を履修する学生は、4年次の春学期にLoyolaにて、指導教員の所属する学科または言語学研究、国際関係研究、アジア文化研究の各専門分野の登録番号で履修登録をしなければならない。ただし、言語学部の学生は、指導教員の所属にかかわらず、言語学部の登録番号にて登録する。

卒業論文または卒業研究を履修する学生は、履修登録とは別に、所定の届出用紙を使用して所属学科または言語学研究、国際関係研究、アジア文化研究専門分野事務担当に届け出なければならない。

3年次秋学期から4年次春学期にかけて留学を予定している学生は、例外として、3年次春学期に卒業論文または卒業研究の履修登録を行い、留学前に「留学者継続履修願」を提出し、帰国後に「継続履修登録」を行わなければならない。ただし、開講科目、担当教員、カリキュラムの変更等により継続履修できない場合がある。

(2) 卒業論文と卒業研究の違い

卒業論文は、論文形式の研究成果で、表紙、目次、本文、注記、文献目録からなっていなければならない。指導は主査1人、または主査と主査の指名する副査の2人による。

卒業研究は、論文形式以外の研究成果で、形式においては卒業論文とは異なるものの、内容と完成に要する知的努力においては卒業論文と同等とみなせるものでなければならない。卒業研究のテーマになり得るかどうかについては、登録した専門分野の演習担当教員と相談すること。卒業研究の提出物は、研究成果物とその成果物に対する解説・解題資料等の文書化されたもの（400字詰め原稿用紙20枚程度）からなる。指導は主査、評価は主査および副査の2人による。

卒業論文・卒業研究の指導は演習担当教員を原則とする。

(3) 提出

卒業論文・卒業研究の提出要領は下記のとおりである。

- ・ 期間：2010年12月9日（木）～15日（水）午後5時まで
- ・ 場所：学事センター（教務）窓口
- ・ 装丁等：指導を受ける担当教員が所属する学科・専門分野のページを参照すること。

専門分野の履修証明

取得：4年の修業年限を満たし、所属学科が定める「卒業に要する科目、単位数」を修得し、かつ履修した専門分野が定める所定の単位を修得した学生は、4年次の12月に本人が申請することにより、履修した専門分野の履修証明の交付を受け、成績証明書にその旨を記載することができる。

申請：履修証明の申請は、成績証明書を添付の上、卒業論文または卒業研究の指導教員の所属する学科、または言語学研究、国際関係研究、アジア文化研究に提出する。申請の時期・申請要領等はLoyolaにて伝達する。

卒業

外国語学部の学生は、4年の修業年限を満たし、所属学科が定める「卒業に要する科目、単位数」を修得すると、学位「学士（外国研究）」が授与され、外国語学部を卒業することができる。**なお、専門分野の「履修証明」の取得は、卒業要件ではない。**